

## 「ユーリカ民法」第5巻 目次

「ユーリカ民法」シリーズの刊行にあたって

はしがき

凡 例

本書の利用の仕方

### 序 論 家族法総論 1

- 1 家族法の意義と構成 1
- 2 親族・相続法の沿革と基本原則 4
  - ▶1 旧民法 4
  - ▶2 明治民法 5
- 3 身分権と身分行為 6
- 4 家事紛争の処理手続 6

## ◆第1部 親 族

### 第1章 総 則 11

- 1 親族の範囲 11
  - ▶1 意 義 11
  - ▶2 種 類 12
  - ▶3 親系と親等 12
- 2 親族関係の変動 13
  - ▶1 血族関係 13
  - ▶2 配偶者 13
  - ▶3 姻族関係 14
- 3 親族関係の効果 14

4	氏と戸籍	15
▶1	氏	15
▶2	名	16
▶3	戸籍	16

## 第2章 婚姻 18

1	婚姻の意義	18
2	婚姻の成立	20
▶1	形式的要件（婚姻の届出）	20
▶2	実質的要件（婚姻意思の合致，婚姻障害事由の不存在）	22
3	婚姻の無効と取消し	27
▶1	婚姻の無効	27
▶2	婚姻の取消し	29
4	婚姻の効果	31
▶1	当事者の地位に関する効果（一般的効果）	32
▶2	財産上の効果	36
5	婚姻外の関係	44
▶1	婚約の意義と成立要件	44
▶2	婚約の効果	45
▶3	結納	45
▶4	内縁・事実婚	46
6	離婚の意義	52
▶1	意義	52
▶2	離婚の形態	53
7	離婚の成立	54
▶1	離婚の種類	55
▶2	協議離婚	55
▶3	調停離婚・審判離婚	57
▶4	裁判離婚	58
▶5	有責配偶者からの離婚請求	62
8	離婚の効果	66

▶1	人的関係（身分関係）に関する効果	66
▶2	子どもに関する効果	67
▶3	財産上の効果（離婚給付）	69
9	DV防止法	76
▶1	家庭・親密圏の暴力・虐待等への法的整備	77
▶2	保護命令の種類	78
▶3	DV防止法の課題	79

## 第3章 親子 80

1	親子関係の意義	80
2	実子	81
▶1	実子の意義	81
▶2	嫡出子	82
▶3	嫡出でない子	88
3	養子	90
▶1	養子の意義	90
▶2	普通養子制度	90
▶3	特別養子	93

## 第4章 親権 95

1	親権の意義	96
▶1	親権とは	96
▶2	親権の当事者（子，親権者）	97
▶3	共同親権	98
▶4	単独親権	99
2	親権の内容	103
▶1	子の身上に関するもの	103
▶2	財産に関するもの	109
3	利益相反行為	111
▶1	利益相反行為の意義	111

▶2	利益相反行為の判断基準	112
▶3	利益相反行為の具体例	113
4	<b>親権の消滅、喪失・制限</b>	115
▶1	親権の消滅	115
▶2	親権の喪失・停止	116
▶3	親権・管理権の辞退	121

## 第5章 後見 122

1	<b>後見制度とは</b>	123
2	<b>後見の開始</b>	123
3	<b>後見の機関</b>	124
▶1	未成年後見人	125
▶2	成年後見人	125
▶3	後見人の辞任・解任・欠格	126
▶4	後見監督人	127
4	<b>後見の事務</b>	127
▶1	就職の際の事務	128
▶2	身上に関する事務	128
▶3	財産に関する事務	129
▶4	後見監督人の職務	130
▶5	家庭裁判所による監督	130
5	<b>後見の終了</b>	131
6	<b>任意後見制度とは</b>	131
▶1	任意後見契約	132
▶2	契約の効力発生	132
▶3	任意後見の監督	132
▶4	任意後見の終了	133
▶5	法定後見との関係	134

## 第6章 保佐および補助 136

1 保佐制度とは	137
2 保佐の機関	137
▶1 保佐人	137
▶2 保佐監督人	137
3 保佐の事務	138
▶1 同意権・取消権	138
▶2 代理権	138
4 保佐の終了	140
5 補助制度とは	140
6 補助の機関	140
▶1 補助人	141
▶2 補助監督人	141
7 補助の事務	141
8 補助の終了	142
9 成年後見の登記	142

## 第7章 扶 養 144

1 扶養とは——私的扶養と公的扶養	145
2 扶養の当事者	145
3 扶養義務の発生要件	146
4 扶養の程度と方法	147
▶1 扶養の程度	147
▶2 扶養の方法	148
5 過去の扶養料	149

▶1 扶養義務者間の求償	149
▶2 第三者からの立替分の求償	150
6 扶養料債権の履行確保	151

## ◆第2部 相続

### 第8章 「相続」総論 155

1 相続制度の歴史	155
▶1 相続の意義	155
▶2 相続制度の歴史	157
▶3 第二次世界大戦以前の相続制度	158
2 相続制度の意義——なぜ相続制度が必要か	159
▶1 相続の根拠	159
▶2 相続の根拠としての被相続人の意思	160
▶3 相続財産を形成する際の貢献の評価（清算的要素）	161
▶4 残された家族の生活保障（扶養的要素）	162

### 第9章 総則 164

1 相続の開始	164
▶1 相続開始の原因	164
▶2 相続開始の場所	167
2 相続回復請求権	168
▶1 相続回復請求権の意義	168
▶2 相続回復請求権の発生と消滅	169
▶3 相続回復請求権の行使	169
3 相続財産に関する費用	170

### 第10章 相続人 172

1 同時存在の原則とその例外	172
----------------	-----

2	相続人の種類と順位	173
▶1	配偶者相続人	173
▶2	血族相続人	173
3	代襲相続	175
▶1	代襲相続の意義	175
▶2	代襲原因と代襲相続人の範囲	175
▶3	代襲相続の効果	176
4	相続欠格	177
▶1	相続欠格の意義と法的性質	177
▶2	欠格事由	177
▶3	欠格の効果	178
5	推定相続人の廃除	179
▶1	推定相続人の廃除の意義	179
▶2	廃除事由	179
▶3	廃除の手続	179
▶4	家庭裁判所による廃除の判断基準	180
▶5	廃除の効果	180
▶6	廃除の取消し	181

## 第11章 相続の効力 182

1	包括承継の原則	182
2	相続財産の範囲	183
▶1	所有権・占有権	183
▶2	生命侵害による損害賠償請求権, 慰謝料請求権	183
▶3	契約上の地位	184
▶4	包括承継原則の例外——一身専属権など	187
3	相続分	190
▶1	相続分の意義 (多様な「相続分」)	190
▶2	法定相続分	191
▶3	指定相続分 (相続分の指定)	192
▶4	具体的相続分	192
▶5	相続分の譲渡と取戻し	198

<b>4 共同相続</b>	198
▶1 遺産共有	198
▶2 債権・債務の共同相続	199
▶3 相続財産の管理	202
<b>5 遺産分割</b>	205
▶1 遺産分割の意義	205
▶2 遺産分割の基準	205
▶3 遺産分割の実行	206
▶4 遺産分割の効果	209
▶5 遺産分割後の被認知者の請求	210
▶6 共同相続人間の担保責任	210
<b>6 相続回復請求権</b>	211
▶1 意義・法的性質	211
▶2 当事者	211
▶3 共同相続人間の適用	212
▶4 相続回復請求権の消滅	213

## 第12章 相続の承認および放棄

<b>1 相続の承認および放棄の意義</b>	215
<b>2 相続の承認</b>	216
▶1 単純承認	216
▶2 限定承認	216
▶3 法定単純承認	217
<b>3 相続の放棄</b>	221
▶1 相続放棄の方式	221
▶2 相続放棄の効果	221

## 第13章 財産分離

<b>1 財産分離の意義</b>	223
<b>2 第1種財産分離</b>	224



3 第2種財産分離 .....	226
-----------------	-----

## 第14章 相続人の不存在 ————— 227

1 相続人の搜索・相続財産の清算の手続 .....	228
▶1 相続財産法人・相続財産管理人	228
▶2 相続人の搜索と相続財産の清算	228
2 特別縁故者への財産分与 .....	229

## 第15章 遺言 ————— 231

1 総論 .....	231
▶1 意義	231
▶2 遺言の性質	232
▶3 遺言事項	232
▶4 遺言能力	232
▶5 共同遺言の禁止	233
2 遺言の方式 .....	234
▶1 総論	234
▶2 普通方式	234
▶3 特別方式	238
3 遺言の一般的効力 .....	240
▶1 遺言の解釈	240
▶2 効力発生時期	240
▶3 遺言の無効・取消し	241
▶4 遺言の撤回	241
4 遺贈 .....	242
▶1 意義・性質	242
▶2 遺贈の当事者	242
▶3 包括遺贈	243
▶4 特定遺贈	243
▶5 条件・期限付き遺贈	245

▶6	負担付遺贈	246
▶7	「相続させる」旨の遺言（特定財産承継遺言）	247
▶8	遺贈の無効・取消し	248
5	遺言の執行	249
▶1	遺言執行の意義	249
▶2	遺言執行の準備手続	249
▶3	遺言執行者	249

## 第16章 遺留分 253

1	遺留分制度の意義・目的	253
2	遺留分の帰属とその割合	254
▶1	遺留分権利者	254
▶2	遺留分の割合（遺留分率）	254
3	遺留分の算定方法	255
▶1	遺留分の算定方法	255
▶2	遺留分を算定するための財産の価額の算定方法	255
▶3	遺留分を算定するための財産の価額	256
4	遺留分侵害額請求権	258
▶1	意義	258
▶2	趣旨——遺留分減殺請求権から遺留分侵害額請求権へ	259
▶3	遺留分侵害額請求権の法的性質	259
▶4	遺留分侵害額の算定	260
▶5	受遺者または受贈者の負担額	261
5	遺留分侵害額請求権の消滅	263
6	遺留分放棄	263
▶1	相続開始前の放棄	263
▶2	相続開始後の放棄	264

参考文献ガイド

判例索引

事項索引